

2008年5月29日

報道関係各位

東京急行電鉄株式会社

客室ドアの誤開扉事故について

昨日、弊社東横線において下記の事故が発生いたしました。ご迷惑をおかけして誠に申し訳ございません。深くお詫び申し上げます。

記

- 事故内容 列車が動き始めた直後、乗務員のドア操作ミスにより客室ドアが開閉し、その間に約50cm列車が動きました。
- 発生日時 2008年5月28日(水)23時59分頃
- 発生場所 東横線妙蓮寺駅下りホーム
所在地：横浜市港北区菊名1-1-1
- 発生列車 東横線 渋谷発元町・中華街行 各駅停車(8両編成)
- 状況 (1)妙蓮寺駅でお客さまの乗降が終了した後、車掌は客室ドアの閉扉操作を行い、ホーム側ドアが閉まったことを確認し、上記列車を出発させるため、運転士に出発合図を送りました。しかしその直後、ホーム上にいらっしゃったお客さまが列車に近寄ってきたため、車掌は開扉操作を行いました。
- (2)運転士は、車掌からの出発合図を受けて、既に列車を発車させる操作を行っていましたが、客室ドアの状態を表す運転台のランプが消灯(開扉状態)したため、直ちに非常ブレーキをかけて列車を停止させました。
- (3)車掌はドア操作ミスに気づき、直ちに閉扉操作を行い、客室ドアを閉めました。ホーム側の全てのドアが開閉する間に約50cm列車が動き、停車しました。
- (4)運転士と車掌は、改めてホーム上の安全確認を行い、異常がなかったことから、列車を出発させました。なお、けがをされたお客さまはいらっしゃいません。
- 原因 車掌が運転士に対して出発合図を送った後にドアを開ける場合は、先に非常ブレーキをかけて、列車を停止、または動かないようにした上で開扉操作を行うことになっていますが、ホーム上のお客さまが列車に近寄ってきたため気が動転し、非常ブレーキをかけずに開扉操作を行ったことが原因です。
- 対策 従業員に対し正則作業を徹底させるとともに、再教育を実施いたします。

以上

お問い合わせ先：東京急行電鉄 社長室 秘書・広報部

電話03-3477-6086 担当：新堀・恩田・小清水